

# 令和元年度事業総括

当協会の元年度を顧みる。社員数 80 名 (2 名減)、受託額 7,644 万円、前年度比較 500 万円の増であった。しかしながら、予算である 11,500 万円に遠く及ばず、300 万円弱の単年度赤字を報告しなければならない結果となった。

社員各位には 14 条作業はじめ本年度のご協力を先ず以て感謝したい。

本年度は山形地方法務局法第 14 条地図作成作業の受注ができなかったが、前年受注 2 年度目の事業収入にてかろうじて帳尻が和らいだが、昨年度同様、非常に厳しい状況下に変化はなく、公益事業の原資の枯渇を認識頂きたい。後期においては新型コロナウイルス禍により、啓発活動、会議など経済活動、情報収集活動が著しく阻害され、先行きの見えない環境下にあった。次年度も全社一丸となり知恵を出し合い全世界的な難局を乗り越えよう。

令和元年度事業計画に基づき、下記の 4 項目を重要課題として協会運営を行った。

本年度、国土交通省 (山形河川国道事務所)、そして、山形地方法務局発注法第 14 条地図作成作業 (山形市) の入札において、他県の調査士法人が落札した。憂慮すべき事態が全国的に恒常化している。打開を模索しているが良策が見つからない。唯々、誠意をもってより良い成果を提供するのみである。

## ① 地図作成作業の積極的参画及び提言 (法的事業)

山形地方法務局発注法第 14 条地図作成作業 2 年目作業

山形市七日町他 0.58 km<sup>2</sup> 2,944 筆

## ② 公益法人としての国民に対する役割の自己認識と情報公開

### 1) 公共建物の無償表題登記事業

寒河江市立なか保育所

令和 2 年 5 月 27 日贈呈

### 2) 研修会および公開講座

新庄地区 (定期情報交換会)・「登記事務打合せ並びに研修会」

日時 令和 2 年 2 月 14 日

場所 新庄市「ニューグランドホテル」

出席 地区内官公署

土地家屋調査士協会新庄地区・司法書士協会新庄支部共催

### 3) ホームページによる情報発信

一般の方や官公庁の担当者の関心が向くテーマ等情報を掲示したかったが、役割、義務的情報の発信しかできなかった。

コロナ禍において、啓発の観点から、次年度においても最重要と考え改善に努めたい。

### ③ 嘱託登記業務の重要性、必要性の官公署への推進行動（法的事業）

令和元年度受託一覧表記載発注者事業の受託を得、その事業を通じて、「高品質且つ統一した成果を、迅速且つ誠実に履行することこそが究極の啓発」を旨に事業を実施した。本事業は当協会の事業目的（土地家屋調査士法）の根幹、「官公署の事業を通じ、県民の権利の明確化に寄与する」ことにある。

### ④ コンプライアンスとガバナンスの徹底

- ・本年度は特段の重点的課題はなく、前年に引き続き日常業務にて法的遵守の認識を確認していただいた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を阻止すべく、対策として、社員に対し会議・業務など「3密」回避の徹底を要請した。また、事務局2名体制を1名とし、社員には不要不急の要件以外立ち寄らないよう要請した。
- ・コロナ禍に端を発した、ネット利用による会議などの研究、それに伴う個人情報の漏洩について検討中。  
次年度に実施できるか計画中。